

所信表明

バトンを受け継ぎ、未来を創る

「職・住・育」 近接型のまちづくり

現在、広川町は大きな転換期を迎えています。5月8日から新型コロナウイルスの位置づけが変わり、経済活動や地域活動が再開されており、コロナ禍の約3年間で人々の意識や生活様式は大きく変わりました。家計を圧迫している物価高の状況も長期化の様相を呈しており、生活者や事業者の負担や不安は大きく、その支援は喫緊の課題であります。

人口減少や出生数の低迷は全国的な課題であり、広川町でも同様の状況にあります。その要因としては、若い世代が結婚や子育てに対して経済的な不安を感じていることが一つ。そして、コロナ禍における「交流機会の喪失」や先の見えない物価高による

「社会情勢の不安」など、全世代的な要因も関係しているのではないかと思われま

す。そのような状況下で、広川町の新しい未来を築いていくためには、新しいビジョンを掲げ、強い責任感と勇気を持って果敢に挑戦していかねばなりません。若い世代が安心して定住できるための環境づくりを進めつつ、全世代に共通して欠かせない医療施設や商業施設、公共交通などの「住環境」の整備を図ります。また、子育て支援や教育環境の充実を図り「子どもが育つ」「子育て世代が育てやすい」環境づくりが必要だと考えています。

このように、「職・住・育」の近接型によるまちづくりを進めることで、どの世代も暮らしやすく、未来に希望が持てる地域の実現に全力で取り組んでいきます。



まずは「5本の柱」
をたてることから

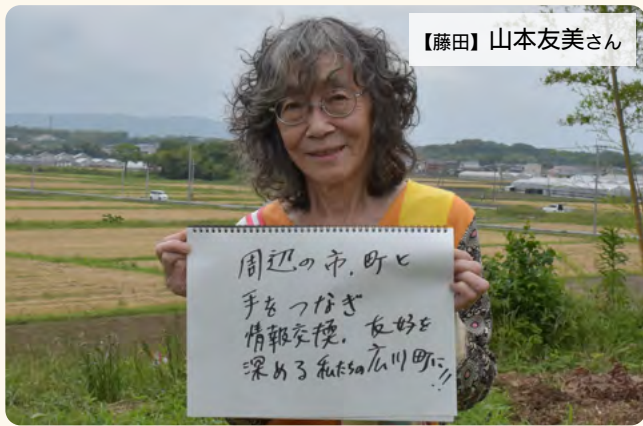
1つ目は、物価高騰に対する支援です。非課税世帯に対する臨時特別給付金など、国や県が講じる施策を迅速に実行しつつ、町独自の支援も講じていきます。

2つ目は、仕事づくりです。広川町の資源である農業の魅力を生かし、ブランド化を進めていきます。創業支援や小規模事業者支援とも絡めて、仕事づくりを後押ししていきます。交通の面では、国道3号広川八女バイパスの早期実現をはじめ、主要道路の整備促進を要望しつつ、産業用地や道の駅の整備構想に取り組んでいきます。

3つ目は、安全安心なインフラ整備です。国内各地で頻発する災害に対し、その発生をできる限り防止し、被害を軽減するべく、国や県とも連携を図りながら道路や河川整備に取り組んでいきます。生活を支える地域公共交通の計画づくりにも着手し、デマンドタクシーや路線バスの利便性向上についても検討していきます。

4つ目は、子ども・子育て政策です。国においても「子ども・子育て政策」を最重要政策と掲げ、本年4月には「子ども家庭庁」が発足し、「子ども・子育て政策」を体系的に示した骨太方針を示すとしています。町としましても、国のこの動きと軌を一にして、出来る限りの支援に取り組みます。恒久的な政策としていくためには「財源」が必要になるため、個人版・企業版のふるさと納税を強化し、収入の拡大を図ったうえで、子ども子育て政策に最優先に投資していきます。

5つ目は、人材育成です。あらゆる政策を並べ立てても、それを実行するのは「人」であり、組織は「人」で成り立つものです。「チームで仕事をする組織」への変革を図り、役場全体を一つのチームとしてまとめ、メンバー全員が同じ方向に向かって、それぞれ力を発揮できる組織を作りたいてと考えています。管理職に対するマネジメントやコーチング研修などを計画し、私自身も積極的に学び、ともに汗を流し、チームに全力で貢献する姿を示していきます。



【藤田】山本友美さん

周辺の市、町と
手をつなぎ
情報交換、友好を
深める私たちの広川町！

大きな視点を持った地域づくりが必要だと思います。外部組織との情報交換や交流は、地域を発展させていく上で欠かせないことです。広川町を発展させていくためには「町単位」で考えるのではなく、近隣の自治体と連携した「エリア単位」で考える必要があると思います。近隣の自治体と手を取り合うことで、できることの幅が広がります。外部も巻き込めるような地域づくりを！



【長徳】野村さやかさん

休日も広川町で
過ごしたい！
広川町の自然を活かして
子供たちの遊び場を！

広川町の特徴を生かしたまちづくりが必要だと思います。町内で1日遊べる場所がないため、休日は町外に出ることが多いです。町内には自然がたくさんあるので、グランピング施設やキャンプ場など、大人も子どもも楽しめる自然を活用したまちづくりを進めてほしいと思います。フルーツや久留米餅、八女茶など、広川町が誇れる特産品もたくさんあると思いますので、地場産品をPRし、町外からの流入につなげてほしいです！

I ♥ 広川



新町長にこれから取り組んでほしいことや、期待することなどを町民の皆さんに聞きました。



【智徳】斎藤朱美さん

公園と駄菓子屋
がたーくさんな町！
子どもたちが
Happyな町！

公園や駄菓子屋など、子どもたちが気軽にいける場所が町内にたくさんあればいいと思います！



【藤田】若菜鮎美さん

バスの回線を
増やしてほしい！

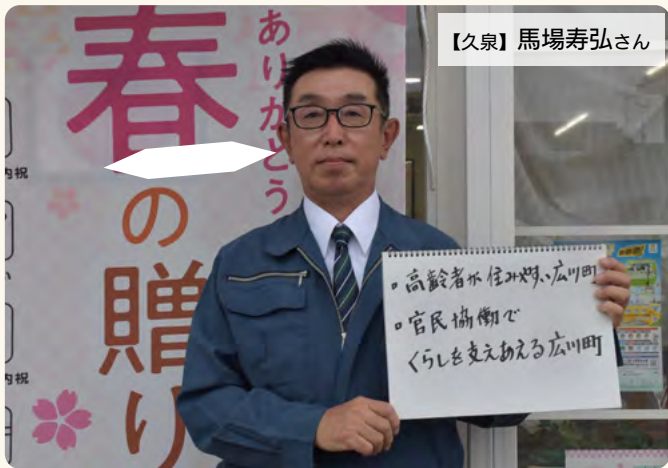
日常的に車移動がメインになるため、交通手段がない人は生活に困ります。バスの回線を増やすなど、**交通面での利便性の強化は絶対に必要**です。もっと広川町のいろいろな場所に行きたいです！



【智徳】馬場奏太郎さん、友紀さん

ナイターが
ついた
グラウンドが欲しい

夜間にサッカーや野球の練習をできる場所がないため、下広校区に**照明の付いたグラウンド**が欲しいです！



【久泉】馬場寿弘さん

高齢者に対する支援を充実させてほしいと思います。私は、高齢者向けの生活支援サービスを提供しており、ご依頼をいただく中でさまざまな課題を目の当たりにします。たとえば、ごみ捨て場が遠い高齢者からは「ごみ出し」のご依頼が、車がない人や免許を返納した人からは「買い物代行」のご依頼をいただきます。家から出なくなることで引きこもりの原因になってしまいますし、高齢者の日常的な交通手段のサポートは絶対に必要です。

また、官民協働で暮らしを支え合える町になれば良いと思います。地域を発展させていくためには、行政だけではなく、民間だけではなく、官民が一体となった地域づくりが必要です。広川町を発展させたいという思いはみんな同じ。民間が参加できる行政プロジェクトの実施など、同じ目的に向かって動ける仕組みづくりをぜひお願いします。



【太田】弓削京子さん

小さな夢も大きな夢も叶う町になれば良いと思います。人と人がつながることで新しいものが生まれ、実現することも大きくなります。子どもも大人も、みんなが夢や希望を持てる町になれば、自然と移住や定住にも結びつくのではないのでしょうか。そのような好循環の仕組みづくりができれば、小さな夢も大きな夢も実現できる町になると思います！

皆さんの声 聞かせて ください！

氷室けんたろう公式 SNS

ブログや SNS など、普段考えていることや活動内容に関する情報を、本人がお届けしています。

LINE やブログからも皆さんの声をお待ちしています！



ホームページ



LINE



ブログ



Instagram



Facebook



YouTube



【久泉】薦田隆嘉さん

広川町は1日通して遊べる場所がないため、目的地に向かうついでに立ち寄るか、そのまま通過してしまう人が多い気がします。休日に「そうだ、広川に行こう！」と思えるような町にしてほしいです。

Hirokawa,s new mayor

ひむろけんたろう
私が新町長の **氷室健太郎** です!

OFF

バックも
久留米織です!



約 20 年履き続けている
久留米織のパンツ



Private style



【年齢】 44 歳

【身長・体重】 170cm・63kg

【座右の銘】 特にありませんが「平常心」であることを心がけています。

【尊敬する人】 中村哲さん

【趣味】 映画鑑賞、ゴルフ

【好きなもの】 久留米織のモンペや服、ゆっくり八女茶で一服すること

ON

「広川町のため、町民のため」
を心の支えにがんばります!



Business style



【略歴】

平成 15 年 広川町役場 入庁 (町民課→住民環境課→福祉課→政策調整課を経験)
平成 25 年 熊本大学大学院 社会文化科学研究科博士前期課程修了 (公共政策学修士)
平成 28 年 政策調整課 地方創生担当係長を拜命 (産業振興課を兼務)
令和 4 年 企画課地方創生担当係長 (産業課を兼務) で広川町役場を退職

Kentaro Himuro